

A01 電気学会茨城支所研究発表会論文

Paper for Convention of Ibaraki Subbranch, Tokyo Branch, I.E.E.Japan

電気 太郎, 学会 二郎, 茨城 花子 (大学)
Taro DENKI, Jiro GAKKAI, Hanako IBARAKI (University)

1. はじめに

発表論文原稿は、A4原寸で印刷されます。執筆にあたっては以下の説明をお読みいただいた上で、お使いのワードプロセッサ等で可能な範囲で指示に従って原稿をお書き下さい。なお、この説明書は講演論文のレイアウトの見本になっていますので、参考にして下さい。

2. 注意点

- ・専用の原稿用紙はありません。お手持ちのA4判白色の上質紙に印刷して下さい。電子ファイルで送付される場合には、**pdf形式**で送付願います。提出された原稿をそのまま複製して予稿集（A4判）を作成いたします。
- ・原稿枚数は**原則1ページ**とします。やむを得ず紙面が必要な場合でも最大2ページとして下さい。先頭の1～2行目にプログラム番号、タイトルを、3～4行目に著者名、勤務先（所属機関）を**日本語・英語の両方**で記入して下さい。
- ・各ページのフッターに、「平成18年度 電気学会東京支部茨城支所研究発表会」を付記して下さい。
- ・ページ番号は通し番号とするので不要です。

表1 マージン

上マージン	20mm
下マージン	27mm
左右マージン	18mm
カラム間マージン	7mm
カラム幅	83.5mm

表2 文字サイズ

論文タイトル(日本語)	14～18pt
論文タイトル(英語)	12～14pt
著者名(日本語)	10.5～12pt
著者名(英語)	9～11pt
章タイトル	10～11pt
本文	9～10.5pt
参考文献	8～10.5pt

3. 字体、レイアウト、文字サイズ

字体は、**MSゴシック**を使用して下さい。様式は特に規定をいたしません。以下を参考にして下さい。

3.1 マージンとカラム幅

2カラム（2段組）を基本とし、各カラムの幅、カラム間マージンは表1を目安にして下さい。本文の字詰めは1行あたり23～26文字程度を推奨いたします。

3.2 配置

タイトル等は、この見本に従って次の～の順序で記載し、本文を書き始めて下さい。文字サイズは表2を参考にして下さい。

タイトル：第1行中央に2カラム通して書く（長ければ第2行も使う）。第1行で済めば、第2行目は詰める。タイトル1行目の左にプログラム番号をつける。タイトルの下に英文タイトルを併記する。

著者名および勤務先：タイトルの下を1行あけて、次の行から中央に2カラム通して書く。講演者名の前には を付ける。英文タイトル、氏名（所属）を併記する。

本文：著者名、勤務先の下を1行あけて、次の行から書く。2ページは上マージンに続いて第1行から本文を書く。

3.3 式および図

式および図を貼り付ける場合は、しわにならないように注意して下さい。図表の英文併記は任意です。

3.4 文献

文献は本文末尾に通し番号を付けて一括して記載し、本文中の該当箇所に引用番号を付けて下さい。文献の記載方法は、著者名、雑誌名、ページ、発行年の順序にして下さい。

文献

- (1) B. Shahzadi: Electron, Eng., 63, 32-35(1965)
- (2) 田中, 他: 電学論 B, 111, p. 1234-1243(2000)